

栗島幼稚園

平成25年5月



園長だより

(35号)

園長 大串 すみゑ



爽やかな五月の空に鯉のぼりがゆったりと泳いでいます

風薫る五月となりました。

園庭の木々も柔らかな新緑が、子ども達の目を楽しませてくれています。

入園式の次の日は、年少組の何人かの子どもが、お家が恋しくて、「シクシク」「ワーワー」「ママー、ママー！」と泣いていましたが、今では園生活に慣れて、ニコニコ笑顔で、お部屋のおもちゃで遊んだり、園庭のすべり台で、楽しそうにすべっています。

幼稚園の鯉のぼりも、薫風にそよぎながらそんな様子を穏やかに見守っているようです。

さて、入園式でもお話をさせて頂きましたが、栗島幼稚園では、「ことば」を大切にしています。「ことば」は「言霊」です。自分の気持ちを素直に伝えたり、相手の考えや気持ちを正しく理解したり、良いコミュニケーションを図ることが出来るようにするためにも「ことば」は大事です。

家庭でも、子どものやる気を促す「ことば」を、ちょっと振り返ってみませんか？
子どもの『豊かな心』や『自尊感情』を育てる「ことば」を使っていますか？

例えば、子どもが失敗したときに、その事を責めるのではなく、「苦手なところが分かって良かったね。」や「お母さんもそういうことがあったよ。」等、認め、励まして下さい。そしてうまくいったときは、沢山褒めてあげて下さい。「駄目ね」「何で出来ないの」「早くしなさい！」・・・
のような否定的な「ことば」は決して子どもの『豊かな心』を育てる事はありません。

子どもが言われて嬉しい「ことば」の『あいうえお』

《あ》→「ありがとう」《い》→「良い子だね」「一緒にしよう」《う》→「嬉しいな」「うまく

いったね」《え》→「えらいね」《お》→「おこさん」「おもしろいね」「大きくなったね」等々・・・

それぞれのご家庭で、肯定的な『あいうえお』を考えてみて下さい。

【先生の報告書より】年少組

11日・初めての登園日、泣いてくる子がどのくらいいるか心配しましたが、5.6名でした。泣きながらも、歌を歌ったり、踊ったりしていましたが、紙芝居を観る時には、全員泣き止んでいました。子どもにとって、母親と離れるという人生初の試練です。1日も早く「ようちえん大～好き！」と笑顔で登園できる様頑張ります。

22日・休み明けですが、泣いて登園する子は一人もいません。子どもの成長を感じました。お便り帳にシールを貼る時にも、先生が来るまで手を膝に置き、静かに待つことが出来、

シールを貼る場所もまちまちだったのが、「今日は、どこに貼るの？」と聞けるようになりました。一つずつ身に付いています。



ひまわりの種をまきました

